

電子ネットワーク多極列島をつくろう！

全国電子近隣社会構想参画の呼び掛け (National Electronic Neighborhood project)

地域社会での電子会議の利用は、互いへの信頼と未来への明るい期待を示してくれています。
それをもう少し押し広げてはどうでしょう。

隣の人を親しく知っているのと同様に、遠くに離れている人もが親しく信頼できる社会、全国的電子近隣社会 (National Electronic Neighborhood) をつくってはどうか。

残念ながら、地域ネットワーク単体では、広く全国をカバーするユーザーの確保は難しい面がありますし、かといって、東京を中心とする全国ネットワークではそれぞれの地域の特色も出し難く、かつ、ますます東京一極集中にもなりかねません。

願わくば、東京をも一地方とし、それぞれの地方・地域が特色ある文化を持ちつつ、その文化を文名の利器である電子ネットワークで成熟発展させるならば、、、そしてそれらの地域文化を東京を経由せず、地域から離れることなく普段の生活の中で交流できたなら、、、多極文化の新しい日本列島ができるのではないかと、互いの地域の文化を尊敬しあう全国的近隣社会ができるのではないかと、思いませんか。そして、当然ながら、その先には国際的電子近隣社会 (International Electronic Neighborhood) も見えてくるでしょう。

皆さんの前向きな参画をお願い致します。

NNプロジェクト連合

道心オーロラネット (北海道)
コミネット (東北)
中日ネット (中部)
C-DAS (中国)
コアラ (九州)

記

方法

1. 二次元方式電子会議システムの一つの電子会議室を共有する。
具体的には、電子会議システムとしてTelenote-Agoraタイプのものを対象に電子会議室のポーティング作業となる。

- その電子会議室コミュニケーションで、利用者が互いを知りつつ、次のステップにて、
2. MHSメールによる電子メールの相互送受信、又は、転送方式メール交換サービスを行う。

制約

1. データ通信費はそれぞれのネットで負担する。
2. 原則的に会議室では実名利用を第一と考える。

その他

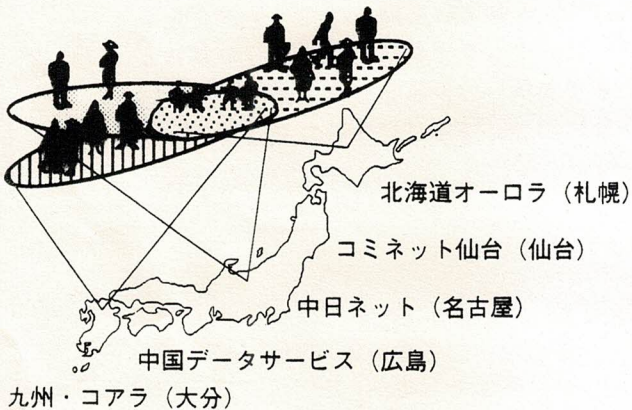
会議テーマは、最初は「日本電子ネットワーク列島春夏秋冬」等とする無テーマに近い形で開催し、その状況を踏まえて、以降のテーマを共同で開発する。場合によっては、議長を地域から発掘し、「議長十テーマ」のワンセットとした番組開発・地域配信などを考える、、、。

全国電子近隣社会プロジェクト

(National Electronic Neighborhood project : N Nプロジェクト)

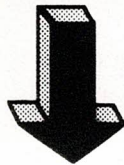
多極多軸列島を作る情報通信インフラを！-----新社会資本投資で。

今年の1月1日から、
東京を経由せず、五つの地域ネットでバーチャル列島を作ってみたら大当たり！



電子会議の共有の新方式

1. 東京を経由しない (マスメディアのように編集なし、中継無し) ので、地方・地域が主人公であることを実感。
2. 市民レベルでのダイレクトで常設の地域間コミュニケーションがそれぞれの地域文化を再発見。
3. 次は、モノの交流、さらには人の実際行き来に発展すること必然。
4. 地域・地方では実現できなかった1万人規模のコミュニケーション実現。
5. 緩やかな地域連合は、東京に負けない運営ノウハウを交換集積グループに。



新国土軸沿いの新コミュニケーションインフラは、
東京を経由しない地域間コミュニケーション、地域間交流を保証する！

